【学校教育目標】
楽しく学び　心豊かで
たくましい児童の育成

東海村立石神小学校
学校だより No. 21
令和８年１月８日

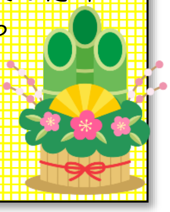
ますぎ

2026年あけましておめでとうございます！

新しい年を迎え、三学期がスタートしました。「一年の計は元旦にあり」子供たちには今年度の締めくくりの学期として、今年度当初に立てた目標を確認し、今年一年の大きな目標をしっかりと立てて、その達成に向けて日々充実した生活を送ってほしいと願っています。

さて、今年の干支は午（うま）。馬は、いつも力強く、元気よく走っています。馬は本来「常に前進する動物」であり、後ろを振り返らずに前へと進むその姿は、夢に向かって突き進む象徴でもあります。また、神社に奉納される「絵馬」は、もともと馬が「神様の使い」とされていたことに由来し、「願いを馬に乗せて届ける」という信仰からも、馬には「福を運ぶ動物」として特別な意味を持っているそうです。午年（うまどし）が、子供たちにとって馬のように、目標に向かってたくましく駆け抜け、幸福に満ちた素晴らしい一年になるよう期待しています。

三学期も保護者・地域の皆様のご協力をいただきながら、教職員一同一丸となって尽力していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



３学期始業式　代表作文を紹介します

三がっきにがんばりたいこと　　一年代表児童

ぼくが、三がっきにがんばりたいことは、三つあります。

一つ目は、たいいくです。ボールやなわとび、とびばことかのあたらしいうんどうを、いっぱいれんしゅうして、がんばりたいです

二つ目は、べんきょうです。こくごでは、あたらしいむずかしいかん字を、かきじゅんに気をつけてがんばりたいです。さんすうでは、むずかしいもんだいでも、すらすらとけるようにします。

三つ目は、ともだちとあそぶことです。一日一かいは、そとでたのしくあそびます。

この三つをがんばって、たのしくて、できることがいっぱいふえる三がっきにしたいです。

これまでのけいけんを生かして　　四年代表児童

ぼくが転校してきたのは、二学期のと中で久しぶりに学校に来た時は、とてもきんちょうしました。まず、その時の気持ちからお話ししたいと思います。

マレーシアの学校とはちがい、クラスの人数が二十八人いるのは、とても多く見えました。学校も広くて、おどろきました。マレーシアの学校は、一階までしかなく、とても小さいです。そして、一学年一クラスで、人数は十人前後でした。そんな小さな学校ですが、現地の学校との交流で、様々な文化の人と交流したり、ペスタクラパという発表会があったりしました。

ぼくは、マレーシアの学校でがんばったことを生かし、二学期に石神小で、勉強や石神祭をがんばりました。

まず、勉強では、算数のテストのために、休み時間に、先生といっしょに復習をしました。授業中もたくさん発表しました。

次に石神祭では、赤い羽根ぼ金のポスター作りをいっしょうけんめいにやりました。たくさんの人に協力してもらえてうれしかったです。

2026年は、五年生になります。高学年になるので、お手本になるような生活ができるようにしたいです。登校班では、副班長として、新しく始まる委員会では、マレーシアでの体育委員のけいけんを生かして、石神小でもがんばりたいと思っています。

そのために、これから始まる三学期は、勉強や自分の役わりをしっかりとやり、四年生のまとめができたぞと、むねをはって言えるくらい頑張りたいと思います。